

マーケットの動き (2021年3月8日～3月12日)

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。週初は、日銀の雨宮副総裁が金利の変動幅拡大に前向きな考えを示唆したことを受けて、金利が上昇しましたが、20年国債の入札が無難に終わったことが好感され、週末にかけて金利が低下し、前週末と同水準で週を終えました。クレジット市場は、利回り差が縮小し、堅調に推移しました。

投資環境見通し (2021年3月)

長期金利の上昇圧力は強まりやすい

日銀が3月会合をメドに公表する金融政策の「点検」においては、マイナス金利の深掘りなど一段の緩和余地の存在を明確化するための対応を検討するとの報道がありました。しかし、あくまでもアナウンス効果を主眼に置いたものとみられ、日銀は現時点ではマイナス金利の深掘りは見送るとみえています。一方、イールドカーブ・コントロールにおける長期金利操作については運用方法が見直される可能性があります。許容変動幅の大幅な切り上げには至らないとみられますが、日銀による「点検」を巡る思惑や世界経済が正常化に向かうとの見方から、当面の長期金利は上昇圧力が強まりやすいとみえています。

	3月12日	変動幅 (騰落率)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り (日本、%) (変動幅)	0.11	▲0.00	0.05	0.10	0.15
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	385.19	▲0.15%	▲0.21%	▲0.52%	▲1.76%

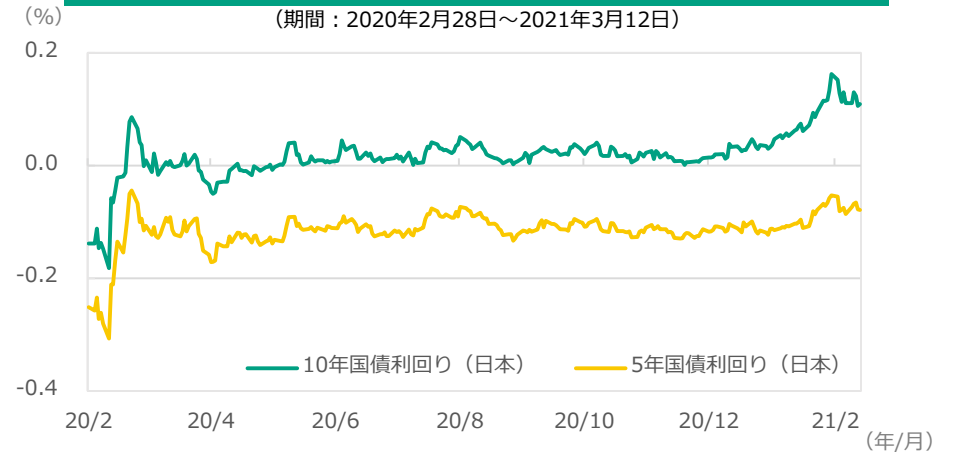
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202103_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



野村BPI総合指数の推移

